

表9-1

透析患者の健康を評価するための数量化（その1）
 - 主観的な健康評価項目について

調査項目	カテゴリー	評価	分布 (%)
健康の 自己評価	とても健康	4	23 (19.2)
	まあ健康	3	74 (61.6)
	やや思わしくない	2	21 (17.5)
	思わしくない	1	2 (1.7)
普段の体力	長い階段を普通に登り 下りできる、あるいはそれ以上	4	54 (45.0)
	長くない階段なら普通に 登り下りできる	3	31 (25.8)
	短い階段でも登り下りは 少しきついが休むほどではない	2	24 (20.0)
	短い階段の登り下りでも休み ながらである、あるいはそれ以下	1	11 (9.2)
透析生活に 対する不安・ 抑鬱感	ない	4	71 (59.2)
	たまにあった	3	16 (13.3)
	ときどきあった	2	19 (15.8)
	しばしばあった	1	14 (11.7)
透析した翌朝 の体調 ¹⁾	ほぼ気持ちよく起きれる	4	48 (40.0)
	まあ気持ちよく起きれる	3	26 (21.7)
	良い日とつらい日がある	2	14 (11.7)
	少し起きるのがつらい	2	7 (5.8)
	かなり起きるのがつらい	1	25 (20.8)
不快な自覚症状	ない	4	52 (43.3)
	たまにある	3	26 (21.7)
	ときどきある	2	21 (17.5)
	よくある	1	21 (17.5)

¹⁾ 主なつらい理由は、①不均衡症候群のため、②体重オーバーで、引く量が多いため、③透析した日はよく眠れない、④透析日は、睡眠時間が不足する、であった。そのうち施設透析・午前では①、施設透析・午後では③、夜間透析では②、家庭透析では①と④の理由をあげたものが、それぞれ多かった。このように、透析形態によって、理由は異なるが、「つらい」者の出現割合には差が認められなかった。

表9-2

透析患者の健康を評価するための数量化（その2）
- 医学的データについて

医学的データ	カテゴリー	評価	分布 (%)
ヘマトクリット(%) 26.5±5.2 MAX 42.0 MIN 18.0	30~42	4	31 (25.8)
	25~29	3	42 (35.0)
	20~24	2	42 (35.0)
	19以下	1	5 (4.2)
カリウム(mEq/l) 5.1±0.56 MAX 6.8 MIN 3.6	5.6以上	1	19 (15.8)
	5.1~5.5	2	46 (38.3)
	4.1~5.0	3	49 (40.9)
	3.6~4.0	2	6 (5.0)
	3.5以下	1	0 (0.0)
血清蛋白質(g/dl) 6.6±0.46 MAX 7.7, MIN 5.0	7.0~7.9	3	26 (24.1)
	6.0~6.9	2	76 (70.3)
	5.0~5.9	1	6 (5.6)
血圧 ¹⁾	正常範囲	3	43 (37.1)
	境界領域	2	26 (22.4)
	高血圧領域	1	47 (40.5)
合併症および 重複障害の有無	なし	3	40 (33.3)
	あり	1	80 (66.7)
最近3ヶ月の 輸血の有無	なし	3	107 (89.2)
	あり	1	13 (10.8)

¹⁾ WHO (1978) による。また、合併症から高血圧は除いて、ここに含めた。

注1) 検査データはいずれも透析前値で、本調査前2~3ヶ月間の平均的値である。

注2) 14人は、血清蛋白質が不明であった。その%は、106人に対して算出した。

注3) 4人は血圧が不明であった。その%は、116人に対して算出した。